

数 学 A
-------

教 科	数 学	単位数	2	学科・学年	機械科 電子機械科 建築インテリア科 2年（選択）
使用教科書	改訂版 新編 数学A（数研出版）			副教材等	改訂版3TRIAL数学A（数研出版）

**「数学A」はどんな科目？**

場合の数と確率、図形の性質について学習します。

**「数学A」の学習の特徴は？**

授業の進め方は、教科書を中心とした講義形式で行います。また、理解を深めるために、演習用プリント、問題集、確認テスト等を利用して、問題演習も行います。

**「数学A」で大切なこと（留意点）は？**

数学Aで学習する内容は、中学校で学習したことをもとに、少しだけ発展させたもので、文字式や数の計算にそれほど複雑なものは必要としません。かわりに、社会生活を送るうえで必要な「直感的な判断力」や「論理的な思考法」の技術やその使い方を学んでください。

**1. 学習の計画（どのような内容を、どの時期に学ぶのかを含む。）**

	月	学 習 内 容 (単元名)	学 習 の ね ら い
1 学 期	4	第1章 場合の数と確率	樹形図を用いて、場合の数の数え上げができるようにする。 順列や組合せの考え方を具体的な問題の考察を通して理解する。 順列や組合せの考え方をういたりして、いろいろな具体例における確率を求める。
	5	第1節 場合の数	
	6	<中間考査>	
	7	第2節 確率  <期末考査>	
2 学 期	8	第2節 確率	確率の性質を理解し、反復試行や条件つき確率など、いろいろな具体例における確率を求める。 三角形の基本的な図形の性質について理解を深める。 円の基本的な図形の性質について理解を深め、図形を多面的に捉えられるようにする。
	9	<中間考査>	
	10	第2章 図形の性質	
	11	第1節 平面図形	
	12	<期末考査>	
3 学 期	1	第2節 空間図形	基本的な作図方法を理解し、さまざまな作図ができる。 いくつかの平面で囲まれた立体について面、辺、頂点の数の関係を理解する。
	2	<学年末考査>	
	3		

## 2. 評価の観点・方法（及び年間の評定）

評価は、次の4つの観点から行います。

関心・意欲・態度	場合の数と確率、図形の性質の考え方に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとする。
数学的な見方や考え方	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、場合の数と確率、図形の性質における数学的な見方や考え方を身に付けている。
数学的な技能	場合の数と確率、図形の性質において、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。
知識・理解	場合の数と確率、図形の性質における基本的な概念、原理・法則などを理解し、知識を身に付けている。

このため、評価は、具体的には次のものを対象とします。

評 価 方 法
年5回の定期考査
長期休業中に出題される課題および休業あけの宿題テスト
学習への参加状況（出席状況、授業中の取り組み（意欲態度）、問題演習への取り組み等）
ノートのまとめ方
授業で活用するプリント、小テスト、単元テスト等への取り組み

また、1年間の評定は、1学期・2学期・3学期の年間を通して、上記の内容を総合的に判断して決定します。

## 3. 特に強調しておきたい点（留意すべき点・担当者からのメッセージを含む。）

単に公式や定理を暗記して解くだけでなく、理由や根拠を考え、それを理解したうえで活用してほしい。また、数学の学習を通して、見通しをもち筋道を立てて考え、判断できる力を身につけてくれることを期待します。